園だより

№12

R.6.1.9

大沢幼稚園園長　長友　六月
TEL（762）4389（代）
FAX（762）4386
http://www.ohsawa.ednet.jp/
緊急連絡先　080-2344-7595

年頭のご挨拶

園長　長友　六月

新年明けまして　おめでとうございます。令和６年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、園児、ご家族、教職員みなさんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。災害はいつやってくるか分からない。まさに言葉通り、１日午後４時 10 分頃、石川県能登地方を震源とする地震が発生しました。多くの尊い命が失われ、未だ安否がわからない状態の方々がいらっしゃいます。ご冥福をお祈りするとともに一刻も早い救出、そして、被災されている方へのお見舞いを申し上げます。新型コロナウイルス、台風、大震災、豪雨災害・・・三十年、百年、千年に一度と言われるような自然災害さえ、身近で発生し、まるで災害と災害の間で生きているようにさえ感じられます。園に於いても日頃の安全対策を全職員、そして保護者の皆様と見直していくことが必要であると考えています。そして、私たちの希望であり未来でもある子ども達の成長を第一に考えることこそが、日本が安心・安全で豊かに暮らすことができる唯一の方法だと肝に銘じて質の高い教育・保育の場を目指していきます。

本園は、幼保連携型認定こども園に移行いたしました。幼稚園としての学校教育と、児童福祉施設としての役割を一体的に担う施設です。昭和２４年（1949）に長友学園はその前身である、神奈川美術服装学園、並びに橋本保育園を開園いたしました。開園時に入園した園児は 20 名足らずで、幼児教育の重要性を感じていた長友武子は、「その重要性を理解してもらえず、垣根の所にうらやましそうに中の園児の遊んでいる姿を見ていた近くの子供達の姿が忘れられない」と回想しております。当時は、終戦まもなく、皆食べるものに困り、親達も子どもを構ってあげる余裕がなかった。それから７５年、子ども達を取り巻く環境は別の意味で難しい時代となりました。本園は、今までの教育理念の下、教職員が一丸となり、そして何よりも地域の皆様方と共に、新たな歴史を刻んでいきたいと願っております。

今、日本や世界中で起きているさまざまな事柄は、学園始まって以来の出来事ですが、戦前・戦中・戦後を乗り越え礎を築いてくれた先人達のように、必ずやこの困難を乗り越えていきます。新たな歩みを続けていくための節目に来ているからこそ、“建学の心”それから“どのような時代にもかわらぬ心”をしっかりと見つめていく年にしたいと思っております。最後になりますが、保護者の皆さま、地域の皆さまには本年も変わらぬお力添えを宜しくお願いいたします。

お焚き上げ！正月飾りや書初めなどありましたら、お持たせください 。“どんど焼き”のお焚き上げを15日に行います。

文化の継承のため、「どんど焼き」の話は子ども達にしていきます。由来は諸説ありますが、園で話すのは地元のお年寄りから聞いたものです。

「どんど焼き」は、無病息災や字の上達を願い、集落のはずれにある石像（道祖神）で、正月飾りや門松、書き初めを燃やすお祭りです。小正月の行事として古くから行われていました。道祖神は、集落に入ってくる悪霊や災いから村人を守る、村の守り神。そして、旅の安全を守る、交通安全の神と言えます。一方、悪い行いをする村人には閻魔帳（えんまちょう）に記し罰を与える役割があります。そんな道祖神も年に一度、1月15日の伊勢神宮での集まりに出かけ、そのすきに村人たちは、病気や怪我をしないようにと閻魔帳を燃やしました。道祖神が閻魔帳を燃やしているのに気がつかないように、字を書いた紙（書初めをした紙）を燃やしたと言います。お正月とは、「知らず知らず過ごすうちに、まちがったりしたものを正しく直す月」。無病息災、交通安全、そして、子ども達には真直ぐに育ってもらいたい。

獅子舞が来るよ！　田名若者神輿連合会による獅子舞の披露があります。

お正月やお祭りなど、縁起の良い日に獅子頭をかぶって舞う民族芸能である獅子舞の披露が12日11頃から行います。厄払いや無病息災、五穀豊穣を祝ったり、祈る意味があります。獅子（しし）とはライオンをもとにした伝説上の生物です。そして、獅子舞に頭を噛まれると、魔除けになると言われています。語呂合わせで「獅子が噛みつくと神がつく」という縁起かつぎの意味もあるそうですが、毎年大泣きする子もいます。今年は・・・。

＜今月の歌＞

今月の歌は「たきび」です。以前は、寒い日には園でも焚き火をしていました。集まると自然に歌が聴こえてきました。

詩の中からは、ほのぼのとした暖かさと子ども心を上手に表しているのを感じます。日本の懐かしい景色と子どもがマッチしたとても素敵な歌ですね。

「たきび」

作詞　巽　聖歌
作曲　渡辺　茂

１かきねの　かきねの　まがりかど　たきびだ
たきびだ　おちばたき　あたろうか　あたろうよ
きたかぜ　ぴいぷう　ふいている
２さざんか　さざんか　さいたみち　たきびだ
たきびだ　おちばたき　あたろうか　あたろうよ
しもやけ　おててが　もうかゆい
３こがらし　こがらし　さむいみち　たきびだ
たきびだ　おちばたき　あたろうか　あたろうよ
そうだんしながら　あるいてる